



行谷小学校 学校だより

トキが飛び交う佐渡の空

# トキっ子

第11号[3月号]

平成31年3月20日発行



シリーズ「元気が一番！」

## Let's think!!



校長 笠井 猛雄

数年前、インターネットのWebサイトでこんな記事を目にしました。



千葉電波大学の研究グループの発表によると、既存の円周率計算プログラムを点検してみたところ、円周の誤差を修正する数値に誤りがあることに気が付いた。3. 1 4 1 5・・・と続く、従来考えられていた数値は全くの誤りで、早急に修正が必要だという。

これは虚偽の情報で、いわゆるフェイクニュースです。

しかし、そうとは知らずに、最初にこれを見た時、私は大きな衝撃を受けました。

正確な事実を確かめもせず、かなり動揺してしまったことを覚えています。

ところで、テレビドラマ『3年A組 ー今から皆さんは、人質ですー』でも、インターネットにおける問題や危険性を取り上げていました。

主人公の柘先生が立てこもり事件を起こした理由のひとつが、「フェイク動画やSNSによる暴力を世に知らしめること」です。

最終話で、校舎の屋上で柘先生が、不特定多数のSNS匿名ユーザーに対して「言葉は時として凶器になる」と延々と訴えるシーンが印象的でした。

実際、インターネット上では、辛辣な言葉の応酬があったり、口汚い言葉が飛び交ったりしています。

本名や顔も出ない匿名のネットの中では、個人を誹謗・中傷する悪意ある投稿もあります。

私が体験した「円周率のフェイクニュース」と同様、大人でも、インターネット上の情報に振り回されてしまうこともあります。

様々な情報を目にしたたり、自分から情報を発信したりする時には、柘先生の授業の決め台詞のように、一度立ち止まってじっくりと考えることが大切だと思います。

**Let's think!!**

さて、昨年11月のアンケート調査で、行谷小学校の子どもたちの約79%が、スマホなどの情報通信機器を利用していることが分かりました。

子どもたちは、インターネット上の不確定な情報や間違った情報など、想定外の危険な情報にさらされていることとなります。

このような過剰な情報社会の中で、子どもたちは生きていかなければならないのです。

スマホ等の長時間利用はもとより、年齢制限を超えた過激な内容のゲームの影響も心配です。

**Let's think!!**

さらに、最近の調査から、ネットで子どもたちがつながっている相手の大多数が、学校などで日常生活を共にしている仲間だということが分かっています。

現実の人間関係とは別の世界がネット上にあるのではなく、現実の人間関係がネット上にまで拡張されているのです。

ネット上のやりとりは、親や教師の目が届きづらい面があります。

トラブルが起きた時は、その具体的事実や原因を把握することは困難です。

より一層家庭と学校の連携を深め、一体となって子どもたちを守る必要があります。

**Let's think!!**

心弾む春、いよいよ春休みに入ります。

一方で、自由な時間が増え、生活のリズムも乱れがちになります。

一日中スマホやゲーム機に没頭してしまう子もいるのではないかと心配しています。

進学・進級を迎えるこの期に、スマホをはじめとした情報通信機器やゲーム機の使い方について、お子さんと話し合い、一緒に考えていただきたいと思います。

きちんとしたルールを決めてそれが徹底できますよう、ご支援とご協力をお願いします。

**Let's think!!**

この1年、大きな事故なく、子どもたちが元気に過ごせたことに感謝申し上げます。

年号が変わる次年度も、変わらぬご支援とご協力をよろしく願いいたします。